

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
子育て支援啓発事業		南・子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
地域や関係機関と連携しながら、親子や子育て世代の交流を促進し、子育て支援情報等の提供やニーズに合わせた相談支援を行い、子育て家庭の孤立化を防ぎ、育児不安の軽減を図る。	・堺市南区家族と一緒に楽しもう！と題して、みなみファミリーイベントの開催（平成30年10月27日・プール学院短期大学との連携事業） ・親支援事業6回（父親向け5回・母親向け2回・講演会1回） ・子育て関連情報リーフレット等作成 ・子育て支援情報の提供及び相談支援 等	参加者へのアンケートによる満足度（満足） 配布部数等	95%	88,3%	98%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 子育てのまち塚の実現に向けて、親子のふれあいや子育て世代の交流ができ、子育てに関する情報を発信することにより孤立化の防止と育児不安の軽減を図ることができる。	○ 行政の施設だけでなく、大学の施設・会場の利用、またNPO法人への委託、企画運営についても学生のマンパワーを活用しながら子育て支援の啓発事業を実施した。	○ 大学の学園祭を会場としたイベントはインパクトはあるが、交通の不便さが子育て世代にはネックになる部分もあるよう。父親向け支援事業に関しては関心の高い家族の参加が増えてきている。	○ 大学との協働によるイベントについては常に新たな視点で学生のアイデアやマンパワーを活用している。また、NPO法人とのコラボレーションによって子育て支援の発信力に新たな方向性が加わった。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 行政として実施すべき事業であるため、今のところ自立発展性は低い。	◎ 区内にある大学の学園祭との協働でのマンパワーを活かした取り組みや、地域の商業施設、企業とのコラボレーションにより新たな発信力が加わり、子育て世代間の交流が促進され、子育て支援情報の提供を実施することができた。また、大学及び幼児教育を志す学生又は、地域の子育て関係団体等と協働することにより、地域の子育て力の向上や、子育て中の親子の育児不安の軽減の一助となった。				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
拡充 継続 見直し 廃止	アンケートによるとイベントに参加した98%の方がとてもよかった、よかった、満足しているを選択し、イベントの評価をしている。各回それぞれのアンケート回収結果でもみると、満足度が高かったことがうかがえた。今年度のイベントは親支援を主目的に取り組み、また、父親支援に踏み込んだ。アンケート結果からみても継続的な父親支援に対するニーズが高いことがうかがえた。ただ、父親自身が考え主体的に行動するというのではなく、自分と子どもが楽しめるかどうかという点の意識が強く、父親支援事業の目的にかがけている父親が社会とつながり、父親自身が子育てを楽しむことで子育ての視点をわが子から周りの環境に広げていくことができるようという部分からは遠く離れている。しかし、今回は親支援のイベントの有用性は高く、また当事者のニーズも高いことが分かったので、次年度に関しても親支援に取り組んでいくことで、親自身が子育てを前向きにとらえ、孤立していかないようになることで社会的なリスクの軽減や社会的なコストダウンにつながることに寄与できると考える。				